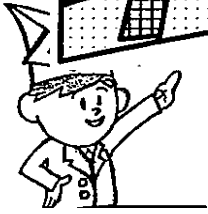


チャレンジネット



第 4 号

平成29年11月2日

富山県立富山総合支援学校
進路指導部

働くために身に付けたい力

高等部教頭 泉溪 正十

ある県の作業学習ハンドブックを見ますと、企業の雇用主から特別支援学校の生徒への要望が載っており、「学校で、これだけができるようになってほしい」こととして、次の六つが挙げられています。

①報告ができること②挨拶ができること③自分から働きたいと思う人④協調性と社交性⑤社会人としてのマナー⑥会社まで自分で通えること

どれも働くためにとても大切なことです。日常生活や学習活動の中で、繰り返し学習していけばなんとか身に付けることができるかもしれませんが、なかなか難しいのが③の働く意欲です。本人がその気になって働く意欲を示してくれないと先に進みませんし、「やろうという気」になってくれなければ、本人自身の変容も望めません。本人に一定の役割をもたせ、様々なことを体験し、チャレンジする機会を増やし、見守りながら「自分でできたこと」「人に尋ねて教えてもらったこと」「できなかったこと」など、自分自身の課題を整理し、本人が少しずつ他との関わりを深めて、コミュニケーションをとって変わっていかねばなりません。

主役はあくまで本人、関わる教師や保護者は黒子として、生徒が「努力すること」、関わる者が「支援を工夫すること」をお互いが導き出し、整理していく共同作業が進路なのかもしれません。

学校と家庭が連携し、生徒の卒業後の生活を見据えて共に取り組んでいきたいと思えます。

高等部2年生就業体験・生活体験先

【企業等】

- ・小林製薬チャレンジド（株）
- ・（株）オフィスケイ
- ・（有）まいけ なごなるの家
- ・大阪屋ショップ（株）

【就労支援事業所等】

- ・日本社会福祉デザインセンター
- ・ジョブスクールさくらだに
- ・ジョブステーションさくら
- ・高志ワークセンター
- ・NPO法人あかりハウス

【生活介護施設等】

- ・ぼらハートのいえ
- ・あゆみの郷
- ・つばさの郷
- ・つつじ
- ・ひばりデイサービス
- ・つくしの家高岡
- ・つくしの家婦中
- ・富山身体障害者デイサービス
- ・だいだい水橋

高等部 1 年生就業体験先

【企業等】

- ・ アニマート製薬（株）
- ・ （株）淀川ランドリー
- ・ 特別養護老人ホーム三寿苑
- ・ 伸和工業（株）
- ・ 第一繊維工業（有）
- ・ （株）バロー
- ・ 大阪屋ショップ（株）
- ・ 医療法人社団和敬会 谷野呉山病院

【就労支援事業所】

- ・ ほまれの家



障害者合同就職面接会に参加

毎年、富山労働局主催で、障害のある方を対象に、県内3か所（富山・高岡・魚津）で面接会が開催されています。対象は、一般の他、新規学卒・訓練校修了予定の方です。高岡地区は9月27日（水）高岡テクノドーム、富山地区は9月28日（木）とやま自遊館にて開催され、本校からは企業就労を希望する3名の生徒が保護者とともに参加しました。

就労支援セミナーの開催

10月26日（木）午後、本校にて、労働局主催による就労支援セミナーを開催しました。高等部1、2年生の生徒を中心に、希望する保護者の方も参加されました。

〔地域における障害者雇用の現状〕

- 富山労働局職業対策課 地方障害者雇用担当官

〔講話1〕

- 富山障害者就業・生活支援センター 就業支援ワーカー

〔講話2〕

- ウエルシアオアシス株式会社北陸営業所 支援コーディネーター

参加した生徒からは、「働くために必要なことを知ることができた」「早さよりも丁寧に作業することが大切だと分かった」「身だしなみが大事だと分かった」などの感想が挙げられました。

ちょっと気になる進路情報4



アフターケアより

本校では、卒業後3年間をアフターケアとして進路先に出向いたり、電話で話を聞いたりして、相談に乗っています。また、必要に応じて、関係機関につなぐようにしています。今回は、最近のアフターケアの様子をお伝えします。

Aさん〔企業就労〕

就業体験のときは、真面目に取り組んでいたのに、実際に働いてからは、人が見ていないところで手を抜いたり、保護者に会社まで送迎してもらったりという様子がみられました。卒業時に、ジョブコーチ支援を依頼していたので、ジョブコーチの方にも入ってもらい、会社の担当の方と相談をし、本人に注意を促すとともに、仕事内容を変更していただき、頑張っています。

Bさん〔企業就労〕

在学時、同じところで3週間就業体験を頑張り、希望どおりに入社しました。しかし、実際に働いてみると、体力的に毎日働くことは難しいことに気付きました。ゴールの見える体験と、毎日働き続けることには違いがあったようです。Bさんも、ジョブコーチや就業支援ワーカーの方に相談しながら、本人が働きやすいように提案していただき、働き続けています。

Cさん〔就労支援事業所〕

最初は、慣れない環境に不安を覚え、泣くこともあったようですが、在学時の担任の先生や母親に相談することで気持ちを整理し、現在は、社会人としての自覚をもって働いています。相談支援事業所の相談支援員からも、頑張っているようですとの報告を聞いています。

働き続けるためには、本人の頑張りはもちろん大切ですが、職業センター、就業・生活支援センター、相談支援事業所等いろいろな関係機関、そして保護者の方による支援がとても重要です。